資料５

東京都がん対策推進計画（第三次改定） 及び 東京都健康推進プラン２１（第三次）における がん予防に関する取組について

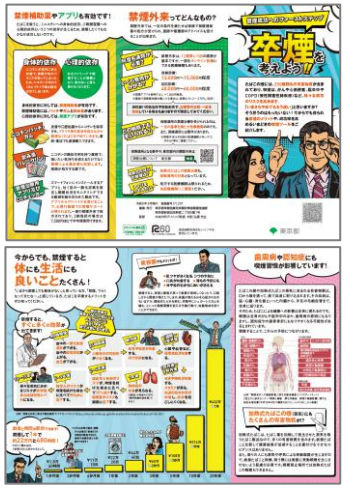
喫煙・受動喫煙に関する取組　（生活習慣及び生活環境に関する取組）

主な取組

喫煙率の減少に向けた啓発や環境整備の推進

- **喫煙の健康影響に関する普及啓発**
  - ホームページ等により、喫煙の健康影響に関する正しい知識を啓発
- **禁煙希望者への禁煙支援**
  - 禁煙啓発ポスター・リーフレットや両親学級向け啓発リーフレットの配布
  - 禁煙治療費助成を行う区市町村に対する支援
  - 禁煙治療を行う都内の医療機関をホームページに掲載
- **喫煙防止教育**
  - 小学４年生から高校生を対象に、20歳未満喫煙防止等に関するポスターコンクールを実施
  - 喫煙防止教育のための副教材を校種別に作成し、小学校６年生、中学２年生、高校１年生に配布





▲禁煙啓発ポスター（A2）・リーフレット（A4三つ折り）

受動喫煙対策

- **健康増進法・東京都受動喫煙防止条例に基づく啓発**
  - 法・都条例に基づく受動喫煙対策について、ホームページやリーフレットにより、事業者や都民等に啓発
  - 検索連動型広告を活用し、喫煙時の配慮義務や飲食店を選ぶ際の禁煙等標識確認の啓発
  - 訪都外国人にターゲティング広告等を活用し、都内の喫煙ルールを啓発
- **世界禁煙デー・禁煙週間に合わせたライトアップの実施**
  - 世界禁煙デー・禁煙週間における禁煙や受動喫煙防止の啓発として、東京スカイツリーや都庁舎をはじめとする都内施設を、受動喫煙防止のシンボルカラーであるイエローグリーンにライトアップ



▲検索連動型広告の
ランディングページ

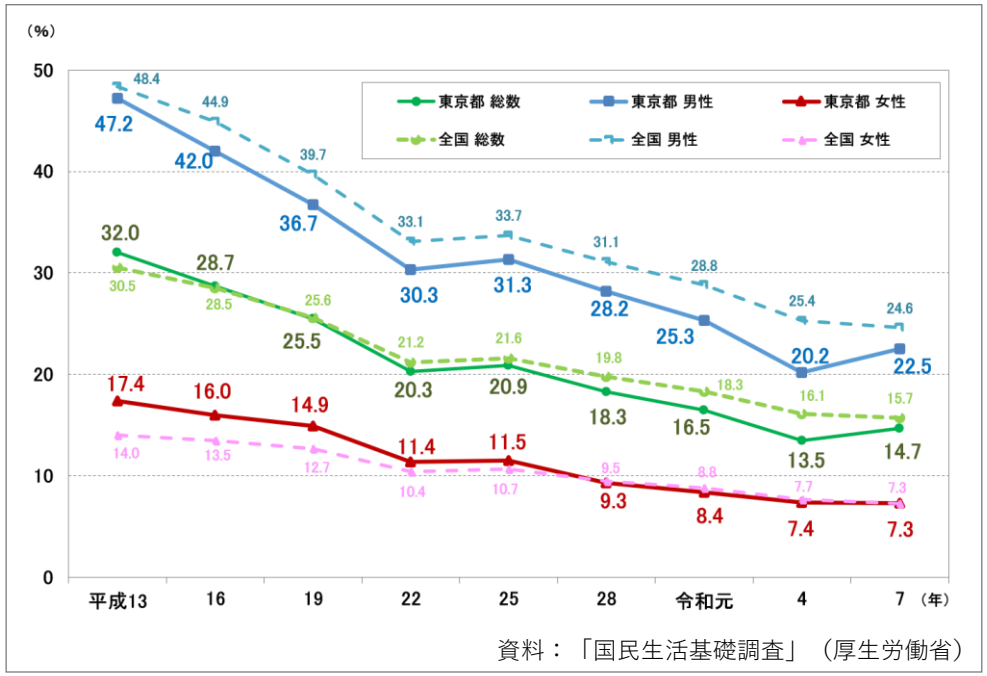


▲訪都外国人向け
ターゲティング広告

喫煙・受動喫煙に関する取組　（生活習慣及び生活環境に関する取組）

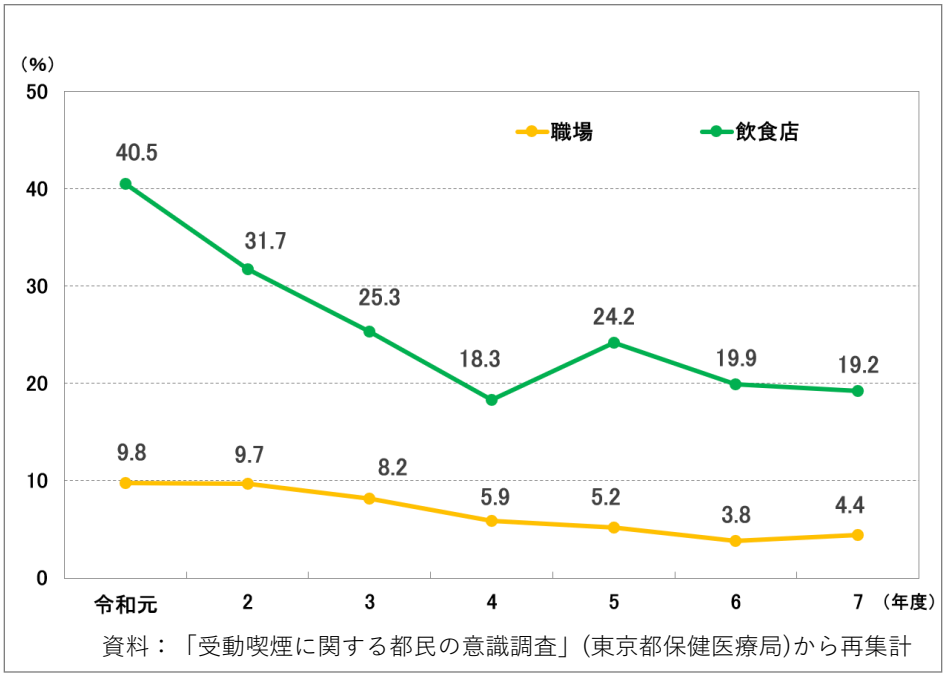
関連する指標・数値の推移

20歳以上の喫煙率の推移（東京都・全国）



資料：「国民生活基礎調査」（厚生労働省）

受動喫煙の機会を有する者の割合（東京都）



資料：「受動喫煙に関する都民の意識調査」(東京都保健医療局)から再集計

- **20歳以上の喫煙率**
  - 東京都・全国ともに減少傾向にあるが、東京都は令和７年に総数及び男性が令和４年と比較して増加
  - 性・年代別では、令和４年からの増加幅は20～24歳の男性、25～29歳の女性が特に大きい
- **受動喫煙の機会を有する者の割合**
  - 令和２年４月の改正健康増進法及び東京都受動喫煙防止条例の全面施行後、受動喫煙の機会を有する者の割合は減少傾向
  - 飲食店における受動喫煙の割合は新型コロナウイルス感染症が５類に移行した令和５年度以降、約２割程度で推移

食生活や身体活動量等に関する取組　（生活習慣及び生活環境に関する取組）

主な取組

ポータルサイト「とうきょう健康ステーション」

- がん検診、生活習慣病予防等、健康づくりに関する情報を、都民や事業者、区市町村等にわかりやすく提供するポータルサイトとして、平成25年度に開設。
- 東京都健康推進プラン２１（第三次）に合わせた利用促進を図るため、令和７年度から８年度にかけてサイトの再構築を実施。
- ユーザーインターフェイスの刷新、多言語対応、プッシュ配信機能、検索補助機能やＡＩレコメンド機能の追加等により、健康づくり情報へのアクセス性の向上を図る。



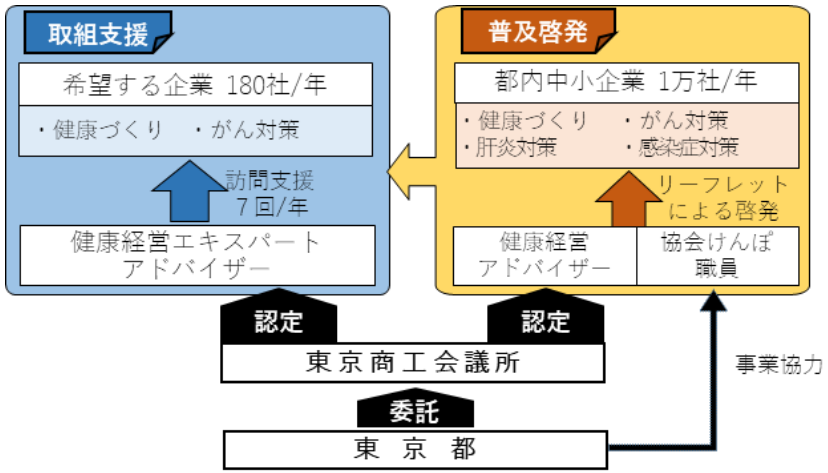
▲「とうきょう健康ステーション」サイト画面

職域健康促進サポート事業

都が蓄積してきた健康づくり、がん対策、肝炎対策及び感染症対策の知見の普及啓発を図るとともに、東京商工会議所が養成する「健康経営アドバイザー」を活用し、企業等への取組支援を実施する。

➢ 普及啓発
健康づくり、がん対策、肝炎対策及び感染症対策の啓発用リーフレットを作成し、健康経営アドバイザーが企業の経営層等に対して普及啓発を行う。

➢ 取組支援
健康づくりやがん対策に関する知識を習得した健康経営エキスパートアドバイザーが、企業の実情に応じた取組目標の設定や、取組支援前後の効果測定ができるような評価ツールを活用して、従業員の健康に配慮した経営の実施に向けた支援を行い、自力で健康経営に取り組むことが困難な企業等の取組を促進する。



食生活や身体活動量等に関する取組　（生活習慣及び生活環境に関する取組）

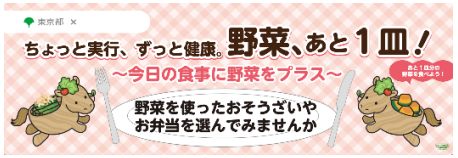
主な取組

地域における食生活改善普及事業

- **飲食店からの食環境づくり（からだ気くばりメニュー店の整備）**
  野菜摂取の増加に加え、栄養バランス・減塩等に係る飲食店等の取組を後押しし、都民が外食等でも健康的な食事を選択できる食環境整備を推進
  - 野菜たっぷり、主食・主菜・副菜を組み合わせたメニュー、減塩に配慮したメニューや工夫があるお店
  - シンボルマークを用いたステッカー、店内外設置用のぼり旗等啓発資材を作成
  - TOKYO WALKING MAPと連携した情報発信の実施
- **小売販売事業者と連携した食環境づくり**
  循環器病やがん等の生活習慣病予防のための食生活について、関係団体等と連携した啓発及び環境整備を実施（適切な食塩摂取を応援する環境整備／野菜摂取増加の啓発／栄養バランスのよい食事の啓発）



▲からだ気くばりメニュー店ステッカー



令和８年度

令和７年度



▲小売販売事業者と連携した食環境づくり

ポータルサイト「TOKYO WALKING MAP」

- 都民の日常的な身体活動量を増やすことを目的に、区市町村等が作成したウォーキングマップを集約・情報発信するポータルサイトとして、平成28年度に開設。
- プラン２１(第二次)の最終評価及びサイト利用者のリピート率が低いことをふまえ、より多くの都民にサイトを活用してもらうことで歩数の増加につなげるため、令和６～７年度にサイトの再構築を実施。検索機能の強化や閲覧実績に基づくおすすめ表示、マイページ機能の実装等、サイトの利便性向上のほか、サイト訪問者の行動範囲や利用シーンを拡げるための機能を導入。
- 動画広告によりサイトの認知度向上を図るほか、定期的なプッシュ通知によりコース紹介等を行うことで、サイトの継続的な利用を促進。





▲「TOKYO WALKING MAP」 サイト画面

食生活や身体活動量等に関する取組 、感染症に起因するがんの予防に関する取組　（生活習慣及び生活環境に関する取組）

主な取組

ポータルサイト「気軽に実践！健康づくり応援ガイド」（飲酒に係る啓発）

- 日常生活の中で都民が実践しやすい健康づくりのポイントを紹介する特設サイトとして、令和３年度に開設（旧サイト名：「withコロナ時代の健康づくりガイド」）。
  運動、食生活、こころ・睡眠、検診・健診受診等、分野別に「今、できること」を紹介するとともに、「ＦＣ東京特集ページ」等スポーツチームと連携した広報のほか、紙媒体も活用して職場、家庭に向けて広く啓発。
- プラン２１(第二次)の最終評価にて、「飲酒」分野における女性の数値悪化が見られたことから、令和６年度に新たに「飲酒」のページの内容を拡充。
  具体的な「生活習慣病のリスクを高める飲酒量」の紹介や、「純アルコール量チェッカー」、「飲酒日記」等、自身の飲酒習慣を見直すための情報を掲載。
- また、「特に生活習慣病のリスクを高める飲酒」を行っている割合が高い40～50代女性を対象に、生活習慣改善を促すＳＮＳ広告等を配信。



▲「気軽に実践！健康づくり応援ガイド」サイト画面

HPV （ヒトパピローマウイルス）に起因するがんの予防

- 予防接種接種率向上対策事業
  - ポータルサイトによるHPVワクチン予防接種の普及啓発
    予防接種法に基づく定期接種の接種率向上や、感染症の流行状況に応じた予防接種の普及啓発を実施する。

- HPVワクチン男性接種補助事業（対象：小学校６年～高校１年相当）
  定期接種対象者が男性に拡大されるまでの措置として、HPVワクチンの任意予防接種に係る費用を区市町村を通じて補助することで、個人負担の軽減を図る。



▲HPVワクチンポータルサイト　キービジュアル

がん検診の受診率向上に関する取組の推進

主な取組

子宮頸がんに関する普及啓発

- ポータルサイト「TOKYO＃女子けんこう部」（R２年度末開設)による情報発信
- 20歳代女性に訴求力のあるインフルエンサーを起用した検診受診促進（インフルエンサーのアカウントでの動画配信等）、WEB広告
- 女性の健康週間キャンペーン（ネイルサロンや雑貨店等での啓発資材配布、サッカーの試合会場でのメッセージ動画の放映など）



▼「TOKYO＃女子けんこう部」アクセス数

R３	812,260
R４	1,232,910
R５	995,846
R６	881,853
R７	731,444

乳がんに関する普及啓発

- 母の日キャンペーン（フラワーショップや洋菓子店等でのメッセージカードの配布）
- ピンクリボンキャンペーン（美容院や百貨店等での啓発資材配布、都庁舎や都内商業施設等のピンクライトアップ）
- ブレスト・アウェアネスに関する普及啓発（リーフレットの配布）
- 「TOKYO＃女子けんこう部」による情報発信、 WEB広告





◀都庁舎ライトアップ

大腸がんに関する普及啓発

- Tokyo健康ウオークの実施（ウオーキングイベントと合わせて、大腸がんについて学べるクイズラリーや無料大腸がん検診を実施）
  〔参加者数〕R６：1,171名　R7：1,298名
- 都庁舎等ブルーライトアップ
- 「TOKYO＃女子けんこう部」による情報発信、 WEB広告





Tokyo健康ウオーク（R7）▲▶

がん検診の受診率向上に関する取組の推進

主な取組

▌5がん共通の普及啓発

- 動画による普及啓発（都営地下鉄車内での放映、YouTubeでの広告配信）
- がん検診ハンドブックの配布
- ファミリー層向け普及啓発（父の日キャンペーン、いい夫婦の日キャンペーン、メッセージカードを活用したがん教育との連携事業）
- 退職者層向け普及啓発（退職者向けリーフレットの配布、著名人を起用したコラムのHP掲載、ポスター配布）



▲啓発資材（リーフレット）



▲都営地下鉄での動画放映

▌女性特有のがんの検診受診促進キャンペーン【R8新規】

- がん検診受診促進のショート動画を広く都民から募集するコンテストを実施

  ⇒募集動画は、以下のいずれかをテーマとして、主に20代後半～60代前半の女性に向けて、がん検診の受診を促す作品

  〔①子宮頸がん検診　②乳がん検診　③働く女性とがん検診〕
- 優秀作品を活用してSNS広告により啓発を行うほか、SNS投稿キャンペーンを実施



▌女性のがん検診受診応援事業【R8新規】

- 検診を知り、受診行動を起こすきっかけとなるよう、インセンティブを提供

  ➡対象期間中に子宮頸がん検診を受診した20歳以上の女性又は乳がん検診を受診した40歳以上の女性に対し、2,000円相当の健康関連グッズを提供、又は東京ポイント(2,000pt)を付与

  （当該検診の受診間隔は２年に１回→令和９年度も事業実施予定）



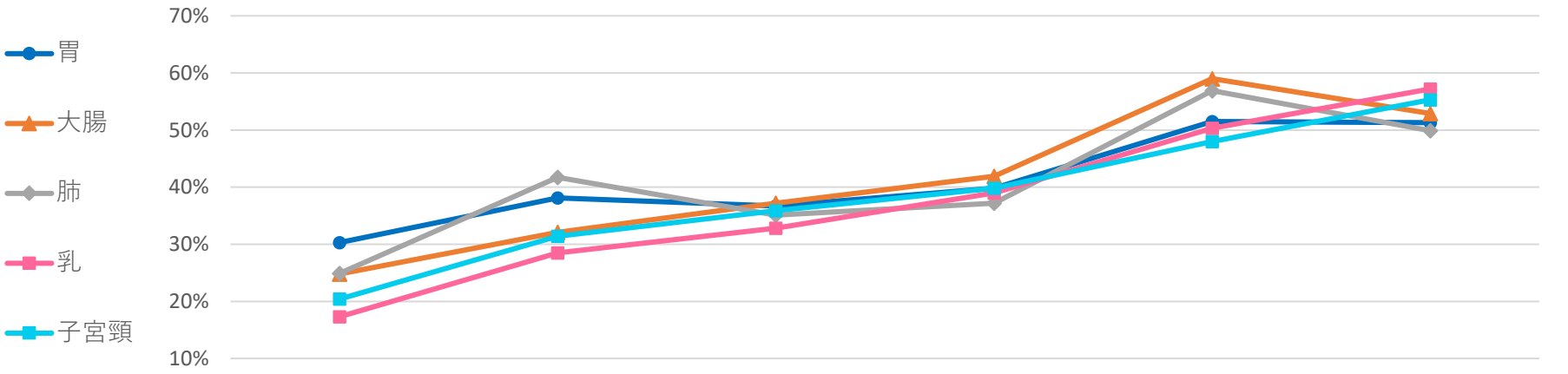


▲提供する健康関連グッズのイメージ

がん検診の受診率向上に関する取組の推進

関連する指標・数値の推移

都民のがん検診受診率



	H12年度	H17年度	H22年度	H27年度	R2年度	R7年度
胃がん検診	30.3%	38.1%	36.7%	39.8%	51.5%	**51.3%** (-0.2)
大腸がん検診	24.8%	32.1%	37.2%	41.9%	59.0%	**52.9%** (-6.1)
肺がん検診	24.9%	41.7%	35.1%	37.2%	56.9%	**49.9%** (-7.0)
乳がん検診	17.3%	28.5%	32.8%	39.0%	50.3%	**57.2%** (+6.9)
子宮頸がん検診	20.4%	31.4%	35.9%	39.8%	48.0%	**55.3%** (+7.3)

出典：「健康増進法に基づくがん検診の対象人口率等調査」（東京都保健医療局）

- 前回調査（Ｒ２年度）から、胃がんはほぼ横ばい、大腸がん・肺がんは減少、乳がん・子宮頸がんは増加
- いずれのがん種も目標値60%には未達

がん検診の受診率向上に関する取組の推進

関連する指標・数値の推移

【参考】都民のがん検診受診状況（令和７年度調査結果）の分析

○男女別・年代別受診率

	区分	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	全体
胃がん検診	男性				62.0%	61.5%	46.4%	32.2%	54.4%
	女性				60.8%	55.2%	35.4%	21.7%	47.7%
	全体				61.4%	58.7%	41.6%	26.8%	51.3%
大腸がん検診	男性			50.6%	56.0%	57.6%	51.6%	42.5%	53.2%
	女性			51.3%	58.5%	58.7%	53.1%	29.4%	52.7%
	全体			51.0%	57.2%	58.1%	52.2%	35.9%	52.9%
肺がん検診	男性			41.7%	54.7%	61.6%	49.4%	40.2%	51.6%
	女性			43.2%	55.9%	53.6%	47.5%	28.4%	48.0%
	全体			42.5%	55.2%	58.1%	48.5%	34.2%	49.9%
乳がん検診	女性			78.5%	70.8%	58.4%	32.6%	14.7%	57.2%
子宮頸がん検診	女性	54.9%	75.0%	75.4%	62.3%	46.3%	24.0%	9.5%	55.3%

- 国の指針で、受診を特に推奨する者は69歳以下とされている
- 受診を特に推奨する年代のうち、大腸がん検診、肺がん検診における40代の受診率が特に低い
- 60代では、５がんとも目標の60%に未達

○未受診理由

最も多かった理由は、胃がん・大腸がん・肺がんは、「特に胃（大腸／肺）に不調を感じないから」
乳がん・子宮頸がんは「心配なときはいつでも医療機関を受診できるから」

- 「がんは早期発見が重要であること」 や「がん検診は症状がないうちに受けるものであること」について理解が不十分

科学的根拠に基づくがん検診の実施及び質の向上に関する取組の推進

主な取組

がん検診精度管理評価事業

東京都のがん検診事業の評価を行い課題を明らかにするとともに、自治体にフィードバックし、自治体の現状認識・改善に向けた取組を促す

区市町村がん検診事業担当者連絡会

科学的根拠に基づくがん検診の実施や精度管理の向上、受診率の向上に向けて、自治体担当者に必要な知識の付与、担当者間での情報交換及びノウハウの共有を図る

がん検診従事者の資質向上

マンモグラフィの撮影技師・読影医師の養成研修、胃内視鏡従事者研修、各がん種の従事者講習会、受託機関講習会等を実施して、がん検診に従事する人材を育成し、都内におけるがん検診の実施体制の整備を図る

職域がん検診精度管理向上支援事業

職域における検診実施主体向けのオンライン講習会を通じ、科学的根拠に基づいたがん検診の重要性やがん検診ハンドブックの活用方法等について説明し、適切ながん検診の実施に繋げる

精密検査受診率向上・結果把握向上推進事業

精密検査受診率向上に向けて、要精密検査者に情報提供するための「東京都精密検査実施医療機関リスト」をがん種（５がん）ごとに作成する。最初に乳がんのリスト、次いで胃がんのリストを作成（いずれも令和８年度中に公表予定）

がん検診実施機関における精度管理のためのデータ活用事業

検診実施機関の精度管理に必要なデータを区市町村・検診実施機関からオンラインで集約・フィードバックできるシステムを構築し、令和７年度より稼働

科学的根拠に基づくがん検診の実施及び質の向上に関する取組の推進

関連する指標・数値の推移

		目標値	R2	R3	R4	R5
精密検査受診率	胃部X線	**90%以上**	71.8%	71.6%	69.8%	**69.2%**
	胃内視鏡		83.7%	90.3%	96.8%	**95.0%**
	肺がん		69.3%	72.1%	74.6%	**71.9%**
	大腸がん		57.5%	58.4%	58.9%	**61.3%**
	子宮頸がん		76.6%	76.4%	78.1%	**79.6%**
	乳がん		87.1%	88.0%	88.7%	**88.9%**

	目標値	R５	R６	R７
科学的根拠に基づいたがん検診の実施自治体	**62自治体**	14自治体	15自治体	**17自治体**

- 精密検査受診率は、胃内視鏡以外は目標に未達（大腸がん検診は特に数値が低い）
- 国の指針を完全に遵守している自治体の数は増加傾向（完全遵守でないケースとしては、ABC検査（胃がんのリスク検査）や前立腺がん検診を実施しているなど）